

令和4年度 海部構想区域における具体的対応方針

No.	医療機関名	2025年において担う役割の方針										2025年に持つべき病床数の方針							
		がん	心血管疾患	脳卒中	救急	小児	周産期	精神疾患	災害	へき地	在宅	(地域医療支援病院) その他	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	(無回復期) 休棟・廃止等	介護保険施設等へ移行
1	津島市民病院	△※1	△※1	○	○				○				352	7	297	48	0	0	0
2	あま市民病院				○								180	0	90	90	0	0	0
3	愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院	○	○	○	○	○	○	○	○			○	534	187	347	0	0	0	0
		構想区域計※2										1,066	194	734	138	0	0	0	
		(2025年における病床数の必要量における公立・公的医療機関の割合)										(53.8%)	(101.0%)	(115.0%)	(17.9%)	(0.0%)	-	-	
		2025年における病床数の必要量										1,981	192	640	772	377	-	-	

※1 国が具体的対応方針の再検証を要請する際に分析を行った診療実績データ（手術件数等）の領域において、その一部を担う場合に「△」を付した。

※2 上記表における「構想区域計」は、構想区域内の公立・公的医療機関病床数合計を指す。

(参考) 令和2年5月及び7月に開催された公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等作業部会において、各病院が集計したデータを基に具体的対応方針について検討を行った。

その過程において管内公立・公的病院は、今後もそれぞれが置かれた地域及び医療環境において適切に機能するため、緊密に連携して海部構想区域の地域医療に今まで以上に貢献していくことで意見が一致、令和2年8月に開催された推進委員会にて2025年における具体的対応方針について合意が得られている。